SMILE ★★★★★ MEISTER

笑顔のマイスター

第21回

いつも元気に笑顔で働くヒミツを教えてもらうべく、笑顔の「匠」の素顔に迫るコーナーです♪
ここでは、日々の業務や職種についても詳しくご紹介いたします。

今号のマイスターは…

より質の高いリハビリテーションの提供ができるよう努め、在宅復帰へのサポートをさせていただきます！

理学療法士 岡本（おかもと） 汐里（しおり）さん

マイスターにQ&A

Q. この仕事を目指したきっかけを教えてください。
A. 中学校を卒業した頃に、病気で手術をしたことがあります。そのときに理学療法士の方にリハビリをしていただき、この仕事に興味を持ちました。

Q. 仕事をするうえで心がけていることは何ですか？
A. 報告・連絡・相談をしっかり行うことや、何事にも恐れずに挑戦する気持ちを持つことです。

Q. 当院を選んだ理由を教えてください。
A. 地元に戻り、地域医療に貢献したいと考えていました。病院見学の際に、先輩方の生き生きと働く姿を拝見し、当院の新人教育や勉強会の充実した環境のもとで働きたいと思いました。

Q. 今後の目標・意気込みをどうぞ。
A. 理学療法士として、日々知識と技術を学ぶことに努め、ひとりでも多くの患者さんに対して復帰への後押しができるよう精進していきたいと思います。

Q. 自分の性格を一言で言うなら何ですか？
A. 明朗

趣味ではスポーツに挑戦中！

私はこれまで、読書や映画鑑賞など、家の中で過ごすことが多い生活をしていましたが、最近は、職場の先輩方や、同期の仲間に誘われて色々なスポーツに挑戦しています。院内で活動しているバスケットボールや、バドミントン、フットサルなどに参加させていただき、走れなくなるまで全力で楽しむことが最近の気分転換になっています。

理学療法士とは

寝返る、起き上がる、立ち上がる、歩くなど、日常生活で必要な動作ができるように身体の基本的な機能回復をサポートする専門家です。麻痺がある患者さんや、骨折などによって歩行をはじめとする様々な動作に不自由が生じている患者さんに対して、歩行訓練などの運動療法や、電気、温熱などを使った物理療法を用いて、身体の機能や動作の回復を促（うなが）し、自立した日常生活が送れるようにバックアップをします。

患者さんひとりひとりについて医学的・社会的視点から身体能力や生活環境などを十分に評価し、それぞれの目標に向けて適切なリハビリテーションのプログラムを作成しています。

理学療法課の業務

当課には16名の理学療法士が所属しており、主に入院中の患者さんを対象に、急性期からリハビリテーションを実施しています。患者さんの身体機能や痛みの評価・分析をした上で、正しい動きを学習するための運動療法と、痛みや麻痺の回復を促すための物理療法を組み合わせたプログラムを作成し、自立した日常生活が送れるよう支援します。その他、負傷・病気後のリハビリテーション、高齢の方に予測される運動機能低下の予防や生活習慣病の予防対策、あわせて福祉用具や住環境への助言・相談も行っています。

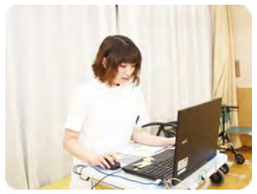
また、定期的に病棟カンファレンスを行い、多職種と連携を図りながら、より質の高いリハビリテーションの提供ができるよう努めています。

理学療法課の施設について

理学療法室は本館東側に位置し明るく日当たりが良い訓練室になっており、快適な空間でリハビリテーションが行われています。天気がいい時は屋外での歩行訓練なども行っています。

岡本さんのある日のスケジュール

8:30	始業
～	
9:00	リハビリテーション業務
～	
12:00	昼食
～	
13:00	リハビリテーション業務
～	
17:30	退勤



Group photo

理学療法課の皆さんと一緒に
（下段の左から2番目が岡本さん）